

望ましい集団活動の活性化と自主的・実践的な態度を育てる特別活動の在り方

日立市立豊浦中学校

1 はじめに

本校の今年度の特別活動の目標は、「集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組む生徒を育成する。」「生徒が互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、社会参画（集団での合意形成と自己の意思決定）、人間関係形成、自己実現を図ろうとする態度を養う。」であった。今年度は、以下の内容に重点をおき、実践した。

2 資料

(1) あいさつ運動の実施

豊浦あいさつ日本一を掲げ、学級で2，3名ずつ昇降口前に立ち、毎朝、あいさつ運動を実施した。



(2) 生徒総会による校則の変更（5月～10月）

より良い学校生活にするために、生徒たちは学級や専門委員会、中央委員会で熟議し、最終的に生徒総会で審議を実施した。

ア YチャートやPMIを活用しながら、学級や生徒会役員会議において、効果的に審議を実施した。

イ 生徒会だよりを活用して、生徒総会の振り返りや生徒会の動向、校則の変更内容を全生徒に伝達した。



(3) オンラインを活用した文化祭（10月）

放送室にスタジオを作り、生徒会役員と文化祭実行委員のメンバーで文化祭を各クラスにリモート配信した。



3 成果と課題

今年度もあいさつ運動を続けることで、その場に合ったあいさつができるようになってきた。また、振り返りアンケートの結果から、生徒総会の実施と準備を通じて、学校の一員としての自覚を深めることができた。しかし、学級審議から出た意見の中には、実現が不可能なものや、生徒総会で審議する対象としてふさわしくないものがあつた。その為、話し合い活動の質的向上を図ることが今後の課題であると考えた。

オンラインを活用して文化祭を実施したことにより、感染症対策をしながら、生徒はこれまでの練習や準備の成果を発揮する場面を実践することができた。